

坂本音楽スタジオ 2018年第2四半期の古楽クラス



坂本音楽スタジオでは、「クラシック」よりも古い「バロック」「ルネサンス」「中世」の音楽を学ぶクラスを開講しています。

特定のテーマを継続して学ぶことを目的としていますが、ご都合にあわせて、3ヶ月間を1単位として受講することができます。

レッスン日は受講者とスケジュール調整をして決めますので、お仕事や家庭の都合との両立もしやすいですよ。

お申し込みをいただいた後、最少開講人数に達したクラスから日程調整をはじめますので、お申し込みはお早めに！

(3月22日正午に最少開講人数に達していないクラスは非開講とする可能性があります)

・中世～ルネサンス音楽入門クラス (声楽・器楽アンサンブル／**カテゴリ A**)

中世からルネサンスにかけてのシンプルな曲やダンス・ミュージックを中心に演奏します。中世やルネサンスの音楽をはじめて演奏する方、大歓迎のクラスです。

・中世読譜クラス アルス・ノヴァ I (読譜／**カテゴリ A**)

・中世読譜クラス アルス・ノヴァ II (読譜／**カテゴリ B**)

・中世読譜クラス アルス・ノヴァ III (読譜／**カテゴリ B**)

中世後期、アルス・ノヴァからブルゴーニュ楽派(マショー、パンショワ、デュファイなど)の読譜を学びます。クラス I ではアルス・ノヴァ記譜法の基礎を学びます。つまづきやすい難所の手前までを範囲とし、当時の記譜法に慣れてゆきます。クラス II は一歩進んで、完全分割の読譜、ソルミゼーション、ムジカ・フィクタといった、中世音楽の重要なポイントを学びます。クラス III は一クラス II までの知識を活かした、読譜の演習を行います。

・中世音楽実践クラス アルス・ノヴァ (声楽・器楽アンサンブル／**カテゴリ C**)

中世音楽についてより深く学び、読譜、解釈、演奏を行います。経験者向けのクラスです。

・バロック音楽アンサンブル 中～後期 クラス I (声楽・器楽 アンサンブル／**カテゴリ C**)

バロック音楽中～後期(17世紀おわり～18世紀中ごろ)の曲を演奏します。いわゆる「クラシック音楽」のなかで、バロック音楽とはどのような背景をもち、当時どのように演奏されていたかを学びます。

・バロック音楽 通奏低音リアリゼーション作成クラス (座学、編曲／**カテゴリ B**)

バロック音楽中～後期(17世紀おわり～18世紀中ごろ)の曲を演奏します。いわゆる「クラシック音楽」のなかで、バロック音楽とはどのような背景をもち、当時どのように演奏されていたかを学びます。

レッスン数、受講料について

四半期を一単位として開講します。レッスン日時は受講者とスケジュール調整を行って決めてゆきます。

- ・ **カテゴリ A** : 80分レッスンを 4回 ¥7,000
- ・ **カテゴリ B** : 80分レッスンを 6回 ¥9,000
- ・ **カテゴリ C** : 100分レッスンを 6回 ¥10,000

※複数のクラスを受講し、受講料の合計が ¥10,000 を超える場合は、超過分を半額に割引いたします。

共通の注意事項

- ・ 器楽はすべて、毎度自力で持参できるものに限り、スタジオの基準ピッチはa=440Hzです。
- ・ 受講料には発表会の参加費は含みません。



講師：坂本卓也

ヴィオラ、バロック・ヴァイオリンを大津睦、ジャン＝フィリップ・ヴァッサールの各氏に師事。

和声学を田島亘、中世音楽理論をルドン絢子の各氏に学ぶ。

ヴィエール(中世フィドル)、バロック/モダン/エレクトリック・ヴァイオリン、

ヴィオラを自在に持ち替え、幅広く演奏活動を行っている。

坂本音楽スタジオ管理人。日本中世フィドル協会大阪支部長。

<http://sakamochi.jp/>